

製品名: CARD 14 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07925**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	110kDa

抗原情報

遺伝子名	CARD14
別名	CARD14; CARMA2; Caspase recruitment domain-containing protein 14; CARD-containing MAGUK protein 2; Carma 2
遺伝子 ID	79092.0
SwissProt ID	Q9BXL6
免疫原	抗血清はヒト CARD14 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 291-340

背景

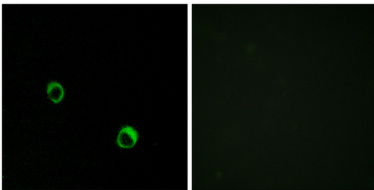
この遺伝子は、膜結合グアニル酸キナーゼ (MAGUK) ファミリーに属するカスパーゼリクルートドメイン含有タンパク質をコードし

ています。このタンパク質ファミリーのメンバーは、細胞接着、シグナル伝達、細胞極性制御など、多様な細胞プロセスに関与する足場タンパク質です。このタンパク質は、細胞アポトーシスおよび NF- κ B 活性化の正の調節因子として機能することが知られているタンパク質 BCL10 と特異的に相互作用することが示されています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2012 年 4 月];注意: PROSITE、Pfam、SMART では検出されない SH3 ドメインを含むと想定されています。機能: BCL10 および IKK を介して NF- κ B を活性化します。BCL10 のリン酸化を刺激する。類似性: CARD ドメインを 1 つ含む。類似性: グアニル酸キナーゼ様ドメインを 1 つ含む。類似性: PDZ (DHR) ドメインを 1 つ含む。サブユニット: CARD14 と BCL10 は CARD-CARD 相互作用によって結合する。組織特異性: 胎盤で発現する。HeLa S3 細胞でも検出されたが、試験した他の癌細胞株では検出されなかった。

研究分野

-

画像データ



CAR14 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。